

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		定員に対してのスペースは適切だが、ソーシャルディスタンスをとってのダンス療育には手狭であり、半々に分かれてレッスンしたりするときもある。
	②	職員の配置数は適切であるか	9			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	6		現在、必要な利用者はいないが、フロアはバリアフリーになっている。入り口は段差あり。事業所の場所も3Fで、歩きなら外階段のみ。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCA（目標設置と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	3		ミーティングで必要な課題は出し合っている。その場で解決策をだすようにしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		評価表とは別に年度末に活動についてのアンケートをとっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9	第三者による評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			コロナ禍でオンラインでの研修が増えているので、受けやすくなっている分、必要に応じて研修の参加を促していきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			個々の課題を見つけながら計画を立てている。必要に応じて保護者さんとも話をして課題を変更・確認している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	5	決まったアセスメントツールは使用していない。ダンス療育がメインなのでインストラクターと共有して独自のやり方で療育している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3		ダンスと和太鼓の療育はインストラクターにお願いしており、利用者の情報をその都度伝え、共有している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		曜日ごとに異なるインストラクターが指導しているので曜日ごとに内容が異なる。毎日利用しても楽しめる内容になっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか	7	2		長期休みのダンス・和太鼓以外の内容は前もって決め、早めに保護者さんにお伝えしている。ダンス・和太鼓は必ず組み込んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			個別療育はしていない。ダンス・和太鼓は集団療育であり、個別計画にも反映させている。ただし、必要に応じて個別にスタッフがついておくようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2		お昼時間に行っているが、送迎と出勤時間がまちまちなので、全員が揃っての打ち合わせができないので、個別で伝えたり、SNSで共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	6	2	一斉に帰りの送迎に出してしまうため、その日のうちに振り返りは難しいので、ライン等で気づきなどを共有したうえで翌日直接伝え合うようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			翌日には記録をつけ終わるようにし、気づきがあれば共有をし、対策を考える等している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			月はじめのミーティングでその月のモニタリング対象者について意見を出し合い、計画をたてる準備をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			学校とは送迎の際にその都度行き、保護者さんとも連絡を取り合っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	5		現在該当者がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		9			機会があまりないが、必要であればしていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	5			必要に応じてしている。希望があれば提示もする。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		5	4		今年度は来ていないが、今後は研修をうまく利用していきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3			イベントの機会があれば積極的にしていく。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	4			呼びかけがあれば、可能であれば参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1			毎日の送迎時・連絡帳・個別ラインでのやりとりでしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3			全員に対してではなく、個別に必要なに応じて経験のあるスタッフが対応している。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか	9				契約時・問い合わせ時にはしっかりしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				個別では必要に応じて経験のあるスタッフが対応している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		6	3		保護者会は来ていない。保護者さん同士でも交流できる機会は大切だと思っているので時期がきたら開催したい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				その都度保護者さんから事情をきき、対応している。内容はその都度スタッフで共有している。
	㉔	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				事業所発行の新聞（年2回発行）やSNSで発信している。今年度は動画配信での発表会も行った。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	9				
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				
非常時の対応	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		7	2		今年度はイベントができず、交流もできていないが、通常に戻れば再開したい。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		9			作成しているが保護者さんに内容すべては周知できていない。マニュアルに沿った訓練まではしっかりできていない。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1			年に2回、避難指定場所までの避難訓練をしている。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	3			研修に参加したスタッフが情報共有している。スタッフ全員にしっかり共有していく。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	3		身体拘束の可能性のある利用者がいないが、その必要がでてくれば説明・記載をしていく。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	5		現在アレルギーのある利用者がいないが、必要に応じてっていく。
㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2			起きた際には報告書を書き、スタッフには共有しているが、新しく入ったスタッフには提示できていなかった。	